

2013年1月吉日

JARIP 会員各位

日本保険・年金リスク学会
研究会担当理事
伊藤・河野・原田・福田

JARIP 2012 年度第 2 回研修会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本保険・年金リスク学会（JARIP）の2012年度第2回研修会を、下記のとおり開催しますので、各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

なお、会場の関係で募集定員を90名とさせていただきますので、お早目の申し込みをお願いいたします。

敬具

記

1. 第2回研修会

日時：2013年2月4日（月曜日） 午後2時から5時

場所：ラ・メール三番町ビル内・東京海上日動会議室（1階に東京海上日動社の受付がございます）

〔住所〕東京都千代田区三番町 6-4

講師：中川秀敏（なかがわひでとし）氏

一橋大学大学院国際企業戦略研究科

専門職学位課程 経営・金融専攻

金融戦略・経営財務コース 准教授

（講師略歴をご参照ください）

講演題目：

「信用リスクモデリングの最近の動向～3つのトピックに沿って～」

講演概要：

信用リスクに関連するトピックスは、伝統的には「個別の融資先の信用スコアやデフォルト確率の評価」「個別の事業債のスプレッド評価」といった話題が中心であり比較的素朴な数理モデルと統計的手法でカバーできる内容であった。

しかし、銀行規制強化やクレジット市場発展とともに「ポートフォリオベースでの信用リスク管理」「クレジットデリバティブズの価格付けやヘッジング」といった話題が発展し、信用リスクを分析するための数理的ツールも急速に高度化してきた。

以前からのこのような話題についても理論・実証の両面で様々な研究が継続的に行われ

ているが、サブプライム危機・リーマンショックの時期以降は（ある意味では古くから認識されていた問題であったが）特に「カウンターパーティー・リスクを考慮したデリバティブ評価」の話題に注目が集まってきている。

今回は、そうした経緯をふまえて、講演者自身が研究対象として最近関心をもっている「事業債のスプレッド分析」「デフォルトリスクの伝播」「カウンターパーティー・リスク」の3つのテーマに沿って、近年のアカデミック研究動向を整理して講演者自身の研究と一部絡めてお話できればと考えている。

ただし、各テーマについて必要以上に専門的な説明を行うつもりはないが、講演時間と比較して欲張った内容になるので、基本的な内容の説明は簡単に済ませることを事前にお断りしておきたい。

2. 参加申し込み

期日：2013年1月29日（火）

学会サイトの【専用申込フォーム】よりお願い申し上げます。

ただし、申込者数が会場定員90名に達した場合は、その時点で締め切ります。

<http://www.jarip.org/>

領収書が必要な場合は記入欄で【領収書 必要】を選択してください。

（事前連絡がなかった方には、領収書を発行しません）。

3. 参加費

会員；1,000 円、 学生会員；無料、 非会員；5,000 円

（法人会員は、3名までは1人当たり1,000 円、それ以上は1人当たり5,000 円となります）

参加費は、研修会当日、会場受付にてお支払い下さい。

以 上

講師略歴：

中川秀敏（なかがわひでとし）氏

一橋大学大学院国際企業戦略研究科
専門職学位課程 経営・金融専攻
金融戦略・経営財務コース 准教授

学位：博士（数理科学）

学歴：

2000年3月：東京大学大学院数理科学研究科博士課程学位取得修了

職歴：

2000年4月～2003年1月：株式会社エムティービーインベストメント テクノロジー研究所(MTEC、現在は三菱UFJ トラスト投資工学研究所) 研究員

2003年2月～2005年3月：東京工業大学理財工学研究センター 助教授

2005年4月～2008年3月：東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科 助教授
(2007年4月から准教授)

2008年4月～：現職

学会等の活動(2013年2月時点)：

日本金融・証券計量・工学学会 (JAFEE) 副会長・庶務担当理事
Asia-Pacific Financial Markets (APFM) Associate Editor

日本保険・年金リスク学会 (JARIP) 会員
日本オペレーションズ・リサーチ学会 会員
日本応用数理学会 会員
日本FP学会 会員

数理経済学研究センター 運営委員
日本アクチュアリー会 朋友

主な査読付き論文：

- (Joint work with Olivier le Courtois) "On Surrender and Default Risks", forthcoming in Mathematical Finance
- 「相互作用型の格付変更強度モデルによる格付変更履歴データの分析」, 日本応用数理学会論文誌, 20(3), 183-202 (2010)
- (吉規寿郎との共著) 「t 分布 2 ファクターモデルを用いた中小企業 CLO のデフォル

ト依存関係の分析」, ジャフイージャーナル『定量的信用リスク評価とその応用』(朝倉書店), 117-165 (2010)

- (金子拓也との共著) 「B/S を利用した回収率とそれに基づく貸出債権の適正プライシング・モデル」, 日本応用数理学会論文誌, 16 巻, 317-343 (2006)
 - 日本応用数理学会 2009 年度論文賞 (実用部門) 受賞
- (Joint work with T. Shouda) Valuation of Mortgage-Backed Securities Based on Unobservable Prepayment Costs. *Advances in Mathematical Economics*, 6, 123-147(2004)
- A Filtering Model on Default Risk. *Journal of Mathematical Sciences University of Tokyo*, 8, 107-142(2001).

[会場地図]

